

林歌子（はたけ）社会事業家。元治元年十一月十四日越前國大野生に、昭和二十一年二月二十四日没（八六—九四六）。福井縣立女子師範學校卒。上京後、明治二十年受洗。二十五年博愛社に加入し孤兒養育事業に従事。三十一年基督教婦人矯風會大阪支部を創設。昭和十二年同會會頭となる。

著書に『入信五十年』（昭和十一年八月一日大阪・婦人矯風會大阪支部）、『現代婦人傳』（池十一名合著・神崎清編、昭和十五年五月二日中央八公論社）等。傳記に、久布白落實著『貴女は誰れ？』（二版、昭和八年十一月、二十日大阪・牧口五明書店）、高見澤潤子著『涙とともい時くものは』（林歌子の生涯）（昭和五十六年五月）、一九九九年主婦の友社）がある。

